ONLINE SEMINAR

事例に学ぶ
「地域・自治体×デザイン」セミナー

参加費無料

YouTube/Teamsでのオンライン配信

DAY1
2023年2月15日|水|17:00-19:45

DAY2
2023年2月16日|木|17:00-20:00

主催：経済産業省
協力：公益財団法人日本デザイン振興会・2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合
事務局：株式会社日本総合研究所・一般社団法人デザインシップ

|開催趣旨|

人口減少や少子高齢化により、地域は生き残れるかどうかのさなかにあります。地域が向き合って自ら対処しなければならない課題は多岐にわたり、それゆえに様々なスキルや専門性を有した人との協力が不可欠です。このような文脈の中、今、地域の課題解決や文化創造等に貢献するデザイン人材への注目が高まっています。自治体とデザイン人材が出会い、相互の人間性に関心を持ち、同じ目的意識を共有しながら“地域のために”“自分たちの未来のために”行動を起こす。そんな取組の先駆者の方々にデザインが地域で果たす役割とその効果を語っていただくセミナーです。ご参加いただく自治体やデザイン人材の方々にとって、「自分たちには何ができるのか」「デザイン人材にとって地域でのキャリアパスや暮らしはどのようなものなのか」についてヒントとなるようなストーリーをご紹介します。

また、本セミナーでは、講演の後、ワークショップとして参加者の皆様に意見交換やネットワーキングを行っていただく場も設けます。デザイン人材や自治体の方々との交流を通じて、皆様が明日からできること、やりたいことについて気づきを得ていただくとともに、共に取り組める仲間づくりのきっかけとなるようなワークショップです。
※このセミナーは、「令和４年度地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業（地域課題とデザイン人材のマッチング促進事業）」の一環として実施されるものです。

|開催概要|

日時

本セミナーは、２つの日程で開催します。いずれかの日程のみのご参加も、両方の日程のご参加も大歓迎です。各日程でテーマ及び登壇者が異なるため詳細はプログラムをご参照ください。
また、各日程はセミナーとワークショップの２部構成となっています。ご参加は、セミナーのみ、またはセミナーとワークショップの両方のいずれかを選択いただけます。

Day1：2023年2月15日（水）　17：00～19：45
セミナー（17：00～18：30）ワークショップ（18：30～19：45）

Day2：2023年2月16日（木）　17：00～20：00
セミナー（17：00～18：45）ワークショップ（18：45～20：00）

|DAY1プログラム|

地域でデザイン人材と協働するには ～自治体や公的団体にとってのデザイン～

イントロダクション

地域×デザイン人材の政策的位置づけ

経済産業省　デザイン政策室

基調講演

デザインの力と効果（仮）

Photo. Muryo Honma (Rhizomatiks)

齋藤精一
パノラマティクス　主宰

1975年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科(MSAAD)で学び、2000年からニューヨークで活動を開始。03年の越後妻有アートトリエンナーレでアーティストに選出されたのを機に帰国。フリーランスとして活動後、06年株式会社ライゾマティクス(現：株式会社アブストラクトエンジン)を設立。社内アーキテクチャー部門「パノラマティクス」を率い、行政や企業などの企画、実装アドバイザーも数多く行う。

事例紹介①
鯖江市（福井）

デザインを通じて地域の熱量を上げる

新山直広

TSUGI llc.

1985 年大阪府生まれ。京都精華大学デザイン学科建築分野卒業。2009 年福井県鯖江市に移住。鯖江市役所を経て 2015 年 TSUGI llc. を設立。地域に特化したインタウンデザイナーとして地場産業のブランディングを行い、自社ブランド「Sur」、産業観光イベント「RENEW」、福井のものづくりとデザインを体感できる複合施設「TOURISTORE」など、領域を横断しながら創造的な産地づくりを行っている。また、2022 年より、観光地域づくり法人「一般社団法人 SOE」副理事をつとめる。

事例紹介②
広島市（広島）

地域のデザイン人材 × 地域企業

田中志保

公益財団法人広島市産業振興センター

1974年広島県生まれ。広島市立大学デザイン工芸学科３D造形専攻卒。1998年より（公財）広島市産業振興センター　デザイン支援室に在籍。22年間地域企業とデザイン事業者のデザイン支援に従事。
ひろしまグッドデザイン賞の運営、デザイナーマッチングサイト「と、つくる」など、地域のデザイン人材とともに、公的な支援機関という立場から広島のデザインを支えている。

トークセッション

対談：新山直広 × 田中志保 × 井上岳一

モデレーター

井上岳一

日本総研創発戦略センター　エクスパート

1969年生まれ。林野庁、Cassina IXC を経て2003 年から株式会社日本総合研究所。山水の恵みと人の知恵・技術を生か した多様で持続可能な地域社会をつくることをミッションに研究・実践 活動に従事。 著書に『日本列島回復論』（新潮選書）、共著書に『MaaS』『Beyound MaaS』（共に日経BP）等がある。

新山直広氏 × 田中志保氏に加え、モデレーター井上岳一（株式会社日本総合研究所）による対談を通じて、これからの自治体や公的団体にとってのデザインを解き明かします。

ワークショップ

以下のテーマなどに沿って､少人数制のチームでディスカッションを行っていただきます｡ワーク中には登壇者の方々に直接質問や意見交換をしていただける時間を設ける予定です。

■ディスカッションテーマ(予定)
〇自治体職員が思う「デザインで解決したい内容」「地域や庁内の困りごと」「デザインを使って地域でやってみたいこと」

〇デザイン人材が思う「デザインで解決できる内容や困りごと」「デザインを使って地域でやってみたいこと」

〇地域においてデザイン活用を行うために必要な支援とは

|DAY2プログラム|

地域でデザイン人材と協働するには ～デザイン人材が地域で活動する面白さ～

イントロダクション

地域×デザイン人材の政策的位置づけ

経済産業省　デザイン政策室

事例紹介①
東吉野村（奈良）

地域とデザインのこれから

坂本大祐

合同会社オフィスキャンプ

2006年、奈良県東吉野村に移住。国、県、村との事業、シェアとコワーキングの施設「オフィスキャンプ東吉野」の企画・デザインを行い、運営も受託。同施設で出会った仲間とデザインファーム「合同会社オフィスキャンプ」を設立。著書に、「おもしろい地域には、おもしろいデザイナーがいる」（学芸出版、共著）がある。奈良県生駒市で手がけた「まほうのだがしやチロル堂」がグッドデザイン賞2022の大賞を受賞。

モデレーター

井上岳一（株式会社日本総合研究所）

事例紹介②
富士見町（長野）

富士見 森のオフィスで生まれる“共同体”的働き方

津田賀央

Route Design合同会社

2001年より東急エージェンシーでの広告企画、SONYでのサービスデザイナーとしての経験を経て2015年に長野県富士見町に移住。Route Design合同会社を立ち上げ、週の半分をSONY社員として東京で過ごし、残りは富士見町で、行政プロジェクト『富士見 森のオフィス』の立ち上げに関わる。現在はRoute Design合同会社のプロジェクトデザイナー/サービスデザイナーとして、コワーキングスペース『富士見 森のオフィス』を運営しながら、コミュニティー・スペース立ち上げのコンサルティングや、地域商品の企画開発、ブランドのクリエイティブディレクション、イベントの企画運営など、東京と地方地域を行き来しながら様々なプロジェクトに携わっている。

事例紹介③
銀座（東京）

地域の価値を再編集し、新たなコミュニケーションを生み出す

髙橋広樹

株式会社博展

1984年生まれ。2009年、博展入社。デザイナーとしての経験を活かし、クリエイティブな視点からプロデューサーとして様々なプロジェクトに関わる。近年では、ステークホルダーと共に新しい「何か」を探究し、開発する活動に取り組む。

中里洋介

株式会社博展

1987年横浜生まれ、東京芸術大学修了、その後、同大学の助手を勤める。日常に潜む「意図しない偶発的な存在」を地域の魅力と捉え、ものづくりの視点から、企画、クリエイティブディレクション、立体制作、映像まで幅広く活動。

事例紹介④
郡山市（福島）

デザインすることは暮らしをつくること

佐藤哲也

Helvetica Design株式会社

東日本大震災が発生した 2011 年、郡山市に Helvetica Design 株式会社を設立。2018 年、郡山市清水台地域のエリアマネジメントを行う一般社団法人ブルー バードを立ち上げ代表理事を努める。2019 年、築 45 年の 4F 建てビルをフルリノベーションし、地域コミュニティ醸成拠点「ブルーバードアパートメント」を OPEN。2020 年、行政（郡山市）と連携したシティープロモーション事業「こおりやま街の学校」を立ち上げ、3 年間で延べ 150 名ほどの卒業生を輩出。また、2023 年 1 月には、郡山市初の「都市再生推進法人」の認定（予定）を受け、郡山観光案内所（JR 郡山駅内）に、D&DEPARTMEN の運営も行う。新しい地域の観光案内所の空間デザインやリブランディングを担当するなど、様々な分野に渡りデザイナーの役割や可能性を広げる活動を行なっている。

トークセッション	**対談：坂本大祐 × 津田賀央 × 髙橋広樹 × 佐藤哲也 × 井上岳一**

モデレーター

井上岳一

日本総研創発戦略センター　エクスパート

1969年生まれ。林野庁、Cassina IXC を経て2003 年から株式会社日本総合研究所。山水の恵みと人の知恵・技術を生か した多様で持続可能な地域社会をつくることをミッションに研究・実践 活動に従事。 著書に『日本列島回復論』（新潮選書）、共著書に『MaaS』『Beyound MaaS』（共に日経BP）等がある。

坂本大祐氏 × 津田賀央氏 × 髙橋広樹氏 × 佐藤哲也氏に加え、モデレーター井上岳一（株式会社日本総合研究所）による対談を通じて、地域においてこれからのデザイン人材に求められる要素や多様な主体の共創のためのヒントを解き明かします。

ワークショップ	Day1と同一の内容となります。

|お申し込み|

開催方法	オンライン開催となります。後日、参加申込者宛に URL を送付予定です。なおワークショップご参加者は Teams での参加となります。
対象者	自治体関係者、デザイン人材等（左記に限りません。）
参加申込方法	こちらの申込フォームからお申込みください。Day1、Day2 のいずれかまたは両方のうち、いずれかを申し込みフォームにて選択してください。なお、ワークショップへのご参加は任意ですが、希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。 **https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/cooljapan/design2022**
参加費	無料

|開催主体|

主催：経済産業省
協力：公益財団法人日本デザイン振興会・2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合
事務局：株式会社日本総合研究所・一般社団法人デザインシップ

|お問い合わせ先|

株式会社日本総合研究所　リサーチ・コンサルティング部門
（担当：亀川・辻本）
E-Mail：
200010-meti_design@ml.jri.co.jp